

新春を祝って おせち料理



令和4年の元旦の朝食は、赤飯に数の子、黒豆、鶏の彩りとかまぼこのおせち料理でした。ご利用者の皆さんは、笑顔で新しい年をお祝いされました。

おせち料理は「お節供」から来ています。季節の区切りを「節日」と言いますが、一年の最初の日である元旦を祝って、神様に料理をお供えする風習に由来しています。そしておせち料理の食材に、それぞれに願いが込められています。例えばその卵の多さから子孫繁栄を願う数の子、黒豆はよく(マメに)働けるようにとの事です。

どうか今年も一年間、皆さんが健やかに過ごされますよう祈念しています。
(記 近藤瑞起)



年始のお菓子をいただきました



1月9日(日)は、新年1回目の余暇のイベントで「松風庵」のお菓子をいただきました。

皆さんは、月化粧、みかさ、アンジュミニョン(チーズケーキ)の中から、好きなお菓子2品を選ばれ美味しそうに食べられました。

やっぱり、美味しいものは良いですね。

(記 小川賀清)



みんなお寿司が大好き!!



1月21日(金)の昼食は「お楽しみお寿司の日」で、握り寿司の盛り合わせ、揚げ豆腐のカニカマのあんかけ、茶碗蒸しの和食豪華メニューでした。当日は皆さんは旧食堂、新館棟、本館棟、女性棟の順で、4グループに分かれて、食事を召し上がられました。皆さんから「お寿司や!!」と大きな歓声があがりました。

お寿司はマグロ、はまち、えび、サーモン、うなぎの握りに錦糸玉子巻きのねぎとろ、きゅうりやいなり寿司で厨房職員の心づくしのお寿司の盛り合わせでした。お寿司の最後の一貫分は、厨房職員が皆さんの前でお寿司を握り、提供しました。そして食材の旨みの沁みだ揚げ豆腐のカニカマのあんかけや茶碗蒸しに、皆さんは心も体も温まりました。

多くのご利用者が食べ終わってから「またお寿司がたべたいよ、ありがとう!!」と、厨房職員に感謝とねぎらいの言葉がかけられました。普段なかなか口にする機会の少ないお寿司の盛り合わせに、皆さん大満足され嬉々とされました。

(記 坂本達夫)

缶つぶしを頑張りました



ご利用者の自治会活動である「さくら会」の活動の一つに、缶つぶしがあります。定期的に「さくら会」のメンバーが協力して、廃品のアルミ缶をつぶして資源ゴミに出しています。

ガシャ、ガシャと、皆さん足踏み機に缶を挟んで踏んで上手に缶をつぶしますが、毎回アルミ缶の量も多く力が要ります。しかし慣れると次々とアルミ缶がつぶれて、よい気分転換になります。今月も皆さんで声をかけ合い、頑張って缶つぶしに取り組みました。

(記 品川徹)